

地整発第 280 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

川西町長 原 田 俊 二



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

いつも大変お世話になっております。

ご依頼ありました標記のことについて、別紙のとおり提出いたしますので、よろしく
お取り計らい願います。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

・道路整備環境等の違いに着目を

都道府県によって道路整備状況に差が生じている。特に本県においては、高速道路・幹線道路・生活道路全般について整備が遅れている。この「格差」が生じている現状を充分反映した事業予算の配分を望みます。

・人口減少、高齢化の中での社会資本維持経費の拡大を

本町のような豪雪地帯、過疎地域において、社会資本維持、ストックマネジメントは大切な業務となっている。ライフラインの維持のための特定財源の確保を求めます。

・地方道（生活道）の整備については、より柔軟な構造に

限られた予算の中で、整備促進を図るために、地域の実態に合った整備手法が導入できるよう道路構造を柔軟に対応していただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式②

山形県川西町

○現状

- ・本町に関連する国道 113 号、国道 287 号等の高速化の計画が遅れている。
- ・住民要望のある道路は生活道路であり、整備を進める上で、一般補助事業はもちろん、交付金事業でも採択ならない道路が多い。厳しい財政事情の中で、一般財源（起債事業含む）での道路整備を進めていくのは、困難である。

○課題

- ・幹線国道の計画は、土地利用等を策定する上で重要な要素であり、その路線や計画進捗状況により左右される。
- ・交付金事業採択条件の緩和等を必要としている。

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

様式③

山形県川西町

○国力を維持し、誰もが豊かさを教授でき、次世代に継承できるまちづくり

- ・日本の国土に空白地帯を作ってはならず、人口減少、高齢化のなかにあっても居住権を保障する均衡のとれた国土の建設が求められる。
- ・温暖化の進展を見据え、都市への一極集中を是正し、災害に強い国土を建設するため将来の国土軸の見直し、地方の機能・基盤の強化が必要である。
- ・東アジア、ロシア等日本海沿岸諸国との関係強化を図る。太平洋と日本海を結ぶルートの整備促進。
- ・道路網の整備を図り、地域資源を活かした個性あふれるまちづくりの推進。
- ・地域の中核医療施設である公立置賜総合病院を生かす、国道 113 号・287 号の整備促進。
- ・本町は、農業産業を中心としたまちづくりを進めてきたため、道路整備が不十分であり、アクセス条件が悪いことから商工業の立地が難しく、結果として人口流出を招いている。歯止めをかけるためにも、基幹道路の整備促進が必要である。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

山形県川西町

○重点事項	○ 代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
国道 113・287 号の整備促進		病院周辺の商業、住居地域の形成。 本町へのアクセス条件の向上により、企業誘致の増加、既存工業団地の拡大。	
子供や老人が安心、安全に暮らせる道路整備	自歩道設置事業	設置により、通学時等子供や老人が安全に通行することができる。特に冬季間の通行には効果をあげている。	
ライフライン維持の財源確保	豪雪による特別交付金（総務省）	豪雪地帯である本町において、冬季間の除雪作業による交通確保は、重要かつ不可欠な事業である。市町村への交付金事業等の補助拡大により、安定した体制を整えられる。	